

# 愛知きつおんフォーラム in 名古屋

## 吃音のある子どもの 自信を育む指導方法

- 日時 平成30年 8月 5日(日) 13:00~16:00
- 講師 羽佐田竜二(言語聴覚士/NPO法人つばさ吃音相談室)
- 受講料 無料
- 対象 保育園・幼稚園・小中学校の先生など教育関係者  
言語聴覚士・臨床心理士など吃音のある人の支援者  
吃音のある人・吃音のある子どもの養育者・吃音に関心のある方
- 定員 90名
- 主催 NPO法人きつおんサポートネットワーク
- 後援 名古屋市教育委員会、愛知県教育委員会  
愛知県言語聴覚士会、日本言語聴覚士協会、愛知県臨床心理士会  
日本吃音・流暢性障害学会
- 会場 なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや 研修室

### <アクセス>

名古屋市営地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅  
6番出口より南へ徒歩7分。

- \*「伏見ライフプラザ」の12階です。
- \*一階部分が消防署になっています。
- \*お車でお越しの場合は近隣の  
コインパーキング等をご利用ください。



この事業はYS市庭コミュニティー財団からの  
助成を受けて実施しています。



- 問い合わせ先 070-2191-7342 (横井) info@kitsuon.or.jp

# 愛知きつおんフォーラム in 名古屋

開 催 趣 旨	講 師 紹 介
<p>吃音（きつおん）のある人は、スムーズに話せないが故に、次第に「話す」ことに対する自信を喪失してしまうとされています。そのため、「吃ること」自体（言語症状）ではなく、「吃ることを気にして話せなくなること」（二次症状）こそが、吃音の本質であると考えられています。一般的に、「話す練習」（発話訓練）は、子どもに対して「その話し方は良くない」というメッセージを送ってしまうため、行なうべきではないとされていますが、実際には「話す練習」を通じて自信を回復し、自分らしく生きることが出来るようになった事例も数多く存在します。今回は、「話す練習」を通じて自信を育む方法について考えたいと思います。</p>	<p><b>羽佐田竜二（はさだりゅうじ）</b></p> <p>言語聴覚士。愛知県西尾市生まれ。大学卒業後、警察官となるが、吃音の影響で退職を余儀なくされる。その後、東海医療科学専門学校を経て、言語聴覚士として医療法人赫和会杉石病院（愛知県武豊町）に勤務。小児から成人まで幅広く吃音臨床に従事し、「話す練習」である「直接法」によるアプローチを中心とした指導方法で注目を集める。現在は、特定非営利活動法人「つばさ吃音相談室」（名古屋市中区）を開設し、理事長を務める。</p>
<h2>プ ロ グ ラ ム</h2>	
<p>12:30-13:00 受 付</p> <p>13:00-13:10 開会挨拶・事務連絡</p> <p>13:10-15:20 講 演「吃音のある子どもの自信を育む指導方法」（羽佐田竜二先生） *途中で10分程度の休憩を取ります。</p> <p>15:20-15:50 メッセージ「発話訓練を通じて育まれた自信」</p> <p>15:50-16:00 閉会挨拶・事務連絡</p>	
お 申 し 込 み 方 法	主 催 団 体
<p>下記URLからお申し込みください。</p> <p><a href="http://www.kokuchpro.com/event/nagoya_kitsuon/">http://www.kokuchpro.com/event/nagoya_kitsuon/</a></p> <p>あるいは、下記のメールアドレスか電話番号までご連絡ください。その際、①お名前、②お立場、③この企画をどのように知ったかをお伝えくださると幸いです。</p> <p>また、申し込み後、キャンセルされる場合は、その旨を事前にお伝えください。</p>	<p><b>きつおんサポートネットワーク</b></p> <p>吃音のある人に対する、支援の輪（ネットワーク）を広げたい。</p> <p>吃音の「当事者」とは誰のことでしょうか。「当事者」には「本人」だけではなく、吃音のある子どもの保護者や、吃音のある人を支援している臨床家の皆さんも含まれているというのが私たちの立場です。そのような視点から、吃音臨床研修会の開催、保護者サークルの運営、専門学校の学生を主な対象とした啓発活動などに取り組んでいます。</p>